

一般質問 (要旨)

第3回定例会では、9月9日、10日、12日、16日の4日間にわたり19人の議員から一般質問が行われました。各議員の主な質問と答弁を要約して掲載します。



辻村 ともこ

災害等資材置き場設置で、1億円経費節減が可能

問 災害等資材置き場設置で災害時有効でかつ10年で1億円の経費節減と4千万円の市収入が見込めると考える。市の考えは。

答 防災の観点から必要なものであると考える。具体的な場所は今後の検討課題。地元事業者の要望を確認し方向性を協議する。

市内全校楽器の現状と課題及びフィギュアスケート

問 ①市内全校で劣化の激しい楽器が随分ある。教育長の楽器に対する考えは。②フィギュアスケート音

楽療法の可能性は。

答 ①学校の要望や緊急性を踏まえ、5カ年の整備計画を作成する。②有効な指導法の一つだが、客観的な評価が必要。

特殊詐欺への注意喚起に伴う個人情報の取り扱い

問 ①背景及び必要性は②最近の事件発生は③他自治体の同取り組みで問題は④リストの更新方法は⑤個人情報保護審議会の見解

答 ①いまだ被害発生。必要不可欠な事業②26年6件③問題なし④削除依頼があった場合に差し替える⑤条例で規定した手続き。



吉野 芳子

子ども・若者に多様な支援の展開と充実を図れ

問 ①通常学級のユニバーサルデザインの授業実施②根川学童を中高生センターとして活用を③18歳以降の若者の相談・支援は。

答 ①揭示等の工夫で見通しをもって学習に取り組める授業を実施②選択肢の一つとして検討③全庁的に検討していく必要がある。

住みなれた地域で暮らし続けるしくみを構築せよ

問 ①在宅医療の現状と課題②居場所継続への支援を③シルバー交番の今後④空き家・空き店舗を活用

し地域の拠点づくりを。

答 ①不足している、医療と介護の連携の組織化②人的支援は可能③相談窓口と生活実態の把握と見守り④関係機関と調整が必要

市民参加で透明性と納得度の高いまちづくりを

問 ①狛江駅前三角地活用方針検討委員会の委員構成と検討状況②外部評価委員会の新たな評価方法は③外部評価の進捗と展望。



市原 広子

警察への個人情報提供、条例は守られたのか?

問 ①振り込め詐欺防止個別訪問に狛江市の高齢1万1千世帯の個人情報を警察に提供した時、狛江市個人情報保護条例の目的(第1条)をなんと認識。②

情報のセキュリティ管理の他に自己情報コントロール権を市民に保障するのが3条、自分の情報が提供されたことを知らなければ自己情報コントロール権は行使できないが、1条・3条をどのように履行。③警察に外部提供申請書で事業内容期間明記させない理由。

答 ①個人情報開示請求等の権利を保障すること自体は自己に関する情報の流れをコントロールする権利を市民に保障する点にも、基本的な権利としてプライバシーの権利を守ることが条例の目的と明記され、この規定が条例の基本的な考え方であり情報の解釈の指針である。②条例の規定に基づいて審議会に諮問し答申をいただき、それに基



小川 克美

子育て支援(プレパーク)事業について

問 ①プレパーク事業の狛江市としての位置付け。②これまでの検討状況について。③設備上の問題点と解決策は。

答 ①後期基本計画重点プロジェクトとして位置付け。②準備委員会が最終答申を行った。③整備内容を協議し、適切な計画を検討。

臨時財政対策債の発行抑制について

問 安定した財政運営を続けていくためには、長期的な視点が必要であり、臨時債の発行抑制に努める

べきと考えるが。

答 臨時財政対策債の発行抑制により、後年度負担を軽減できる。中長期的な視点に立ち規律ある財政運営に今後も取り組む。

南部地域が抱える問題点

問 水道道路における平成27年度中の事業認可取得に向けて、現状での地域の方に対する対応は。



須田 繁美

開議決定された「子供貧困対策大綱」について

問 ①生活保護受給世帯の内17歳以下の子供の家庭数は。②乳児健診の受診率は。③一人親の就業支援等を大綱で求めているが、保育園への入園は優先されるか。④不登校児等の現状と対策について。

答 ①平成26年8月末時点で、43世帯。②平成25年度実績で95%。③基準指数と調整指数により優先度は高くなっている。④平成25年度は小学校14名、中学校40名・関係機関との連携を図り組織的に対応。

問 相次いで申請された大規模マンション建設を問う

問 岩戸北の(株)京セラクリスタルデバイス跡地及び電力中央研究所北側の計2箇所でもちづくり条例による大規模開発事業構想手続きが行われたが、その現状と問題点について。

答 (仮称)和泉本町一丁目計画の大規模開発等事業構想説明会開催報告書では、既存建物の解体工事や計画建物配置等について懸念有り。(仮称)岩戸北計画は、既存樹木保存等さまざまなご意見有り。



谷田部 一之

日本一安心安全なまち 狛江の実現に向けて

問 ①狛江駅南口駐輪場の現状は。②新たな駐輪場が必要か。③南口商店街前の迷惑駐車対策は。④南口でイベントの開催は可能か。⑤近未来に向けての南口周辺整備は。⑥清水川公園の今後の取り組みは。

答 ①利用率は100%に近い②必要性は感じていない③段階的に対応④実現する可能性はあるが、協議必要⑤市中心部にふさわしい機能強化・導入検討の方法を模索したい⑥法定外公共物等利用方針に基づき検討。

問 狛江の教育Q-Uアンケートについて

問 ①Q-Uは学級崩壊の流れが読めるテストであるが導入した理由は②Q-Uの実施状況は③Q-Uの分析結果は④現場の職員の声は⑤学級崩壊等を食い止めた事例があるか⑥今後どのように活用していくか



本橋 文武

重要性の高まる都市農業に伴う狛江農業の現状

問 ①今秋の臨時国会で「都市農業に関する基本法」提出見解は。②市民農園開設今後の対策は。③体験農園開設今後の対策は。

答 ①狛江の農業の発展に寄与するよう期待。②土地の確保に向け努力。③JAMAINZの回覧を活用し市内農家に募集。

多摩川の利活用における環境整備について

問 ①多摩川河川敷に関する環境整備の進め方②河川敷土手の自転車利用実態③流域自治体との連携に

答 ①庁内検討委員会と構想策定委員会を設置して議論開始。都関係部局とも調整。②第2回策定委員会では構想の枠組みについて整理検討。

和泉多摩川緑地の整備推進構想について

問 ①都立公園誘致を目指すし、どのような議論を行っているのか。②今後の方向性は。

答 ①庁内検討委員会と構想策定委員会を設置して議論開始。都関係部局とも調整。②第2回策定委員会では構想の枠組みについて整理検討。

よる自転車走行ルール作り

問 ①実施計画を策定し全区間は川と並行する道路を利用する動線が多い③連携して策定の努力をしたい。

答 ①実施計画を策定し全区間は川と並行する道路を利用する動線が多い③連携して策定の努力をしたい。

よる自転車走行ルール作り